

一覧詳細

1	対象となるがん	食道がん
2	使用される新薬(治験薬)	Tislelizumab (BGB-A317)
3	実施方法(治験のデザイン)	<p>プラセボ対照二重盲検試験</p> <p>A群: Tislelizumab + 2剤化学療法</p> <p>B群: プラセボ + 2剤化学療法</p> <p>※この治験に参加した患者さんは、A群、B群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>A群になるかB群になるかはわかりません。</p>
4	<p>治験に参加いただける患者さんの身体状況(患者選択基準)</p> <p>※患者選択基準の概要の一部です。</p>	<p>①同意説明文書に署名した日に18歳以上(又は現地の規制により許容可能な年齢)である</p> <p>②ESCCの診断が病理学的(組織学的又は細胞学的)に確定されている</p> <p>③初回診断時にステージIV 切除不能ESCCである、又は診断的治療後6ヵ月以上の無治療期間後に切除不能、局所進行再発性又は転移性疾患である。</p> <p>④ECOG パフォーマンスステータスが1以下である。</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p> <p>⑩</p>
5	治験責任医師	津田 政広 先生

知的財産権の保護等の理由により、非公開の要望のあった項目については、表中の項目を「-」としています。